**大崎市初の国指定重要文化財**

**おおさきの宝　千手観音坐像**

田尻地域小松地区に伝わる「木造千手観音坐像」が「東北地方の仏像製作の様子を知るうえで重要な遺品である」として国の重要文化財に、併せて脇侍2躯（不動明王立像、毘沙門天立像）が、重要文化財の一部となる附指定になることが決定されました。

　木造千手観音坐像は、田尻地域「小松寺」の本尊として伝来したものです。明治初頭に廃寺となった後は、地元の「お薬師様文化財保存会」の皆さんによって、大切に守り伝えられてきました。

　5月23日から、重要文化財指定後初となる展示を開催します。3躯の像と小松寺の歴史を感じてみませんか。

●「平成29年新指定国宝・重要文化財」展

期間　5月7日まで

場所　東京国立博物館（東京都台東区）

料金　一般620円、大学生410円

●重要文化財指定記念

企画展「木造千手観音坐像と小松寺」

期間　5月23日～6月25日

場所　松山ふるさと歴史館

料金　一般210円、高校生・中・小学生100円

 文化財課保護担当 72-5036

 松山ふるさと歴史館 55-2215

**大崎市消防団　新入団員募集!**

地域を守るためには、その地域を知っている皆さんの力が必要です。

　自分の大切な家族やまちを守るため、消防団に入団して一緒に活動しませんか。学生でも、働いている人でも、18歳以上の健康な人であれば、男女を問わず入団することができます。地域の力になりたいという志がある人の入団をお待ちしています。

 防災安全課消防担当　23-5144

●消防団の役割

　消防の任務は、各種の災害から生命や財産を守ることです。

　東日本大震災の実例でもわかるように、林野火災や集中豪雨、大地震などの大災害時には、地域に密着した防災活動が必要となり、その活動を担うのが消防団です。

●消防団員の役割

　消防団員は自分の仕事を持ちながら、火災、水害などの災害発生時に消防活動に従事する、特別職の地方公務員です。無償活動ではなく、職務や活動に対する報酬や手当、活動中のけがや事故などの補償、退団時の在団年数に応じた報償金などを支給します。

　大崎市では、現在2,361人（うち女性8人）の消防団員が地域のために活動しています。

●消防団の活動

 災害発生時の活動

火災時の消火活動　大雨、台風時の巡回、水防活動

地震時の巡回、調査活動　行方不明者の捜索、救助活動 など

 予防活動

火災予防の巡回広報活動　各種災害の警戒活動

地域行事での警戒、警備活動 など

 教育・訓練活動

消火訓練、水防訓練、操法訓練　規律訓練、消防演習 など

●全国女性消防操法大会に一緒に出場しませんか

9月30日に秋田市で開催される「第23回全国女性消防操法大会」に、大崎市消防団の女性消防団員が出場します。同大会は、女性消防団員が有事に確実かつ迅速に行動するため、消防用機械器具（軽可搬ポンプ）の操作技術を競い合います。

　「大会に出場してみたい」という人や興味のある人は、防災安全課消防担当（23-5144）まで気軽にお問い合わせください。

●大崎市消防団古川支団本部分団所属

佐々木 ひろ さん

　「女性消防団員が足りない！」と聞いて、わたしにできることならやってみようと思い、入団を決意しました。

　わたしには5歳の長男と9カ月の次男がいます。消防団に入ってがんばっている母親の姿を子どもたちに見せることは、素敵なことだと感じています。

　今の目標は、9月に行われる「全国女性消防操法大会」で良い成績を残すことです。

　消防団員として地域の力になるために、皆さんも一緒に活動しませんか。